

2017年4月24日

出場選手 各位

山口県テニス協会  
会長 松重 見司

### 全国実業団(B)対抗テニス大会 山口県予選大会(団体戦) 開催要項

表記大会を下記の要項で開催しますので、選手へのご連絡をお願いいたします  
ガイドブックでは試合球は、中国予選の試合球に準じます。と記載しました。  
中国予選の試合球は、ブリヂストンXT-8です  
各チーム、お間違えないように、お持ち寄りください。よろしくをお願いいたします  
一般女子・申し込みチーム数によっては予選はありません。(県予選の申し込みチームには、中国大会出場を後日案内をします)

記

1 場 所 宇部マテ”フレッセラ”テニスコート(砂入り人工芝)

2 日 程 (オーダー オブ プレイ)

一般男子	
5月7日 (日)	9:00~

※会場準備は8:00よりできます。ご協力をお願いします。  
※練習は8:30から予定しています。  
※監督者会議は、8:45より予定しています。

3 試合方式 8ゲームプロセット・セミアドバンテージ方式(2回目のデュースはノーアドバンテージ)

※初回の試合はポイントが決定しても6ゲーム先取に切り替えて行う  
※初回の試合以外は勝敗決定後、残り試合、途中試合、即、打ちきり。(厳守の事)

4 試合球 ブリヂストン XT-8 各チーム 3缶持参(大会本部へ預ける必要は無し)

本選は新缶で試合実施、勝者が新缶を貰い、敗者がセットボールを貰う。  
コンソレーションはセットボールを使用します。

5 審 判 セルフジャッジ(またはSCU)

6 ルール等

- ① 5名以上の選手が出場できない場合そのチームは、失格とします。  
※臨時社員(職員)、バイトは選手として認めません。
- ② 選手の追加は、受付時に大会本部に申請してください。  
但し、チームの変更及び1人が2チーム以上を兼ねることは出来ません。
- ③ 2017年度日本テニス協会ルール(テニスルールブック)を準用します。
  - ・遅刻に関しては、コード オブ コンダクトを適用します(15分以上遅刻すると失格)
  - ・服装に関しては、コード オブ コンダクトを準用します(自チームの企業名、またはロゴマークは制限しません)。
  - ・携帯電話は、電源を切るかマナーモードに設定し、試合中使用してはいけません
  - ・セットブレイク・ルールを採用します(第1ゲーム終了後とタイブレイク中は、休憩なしでエンドを交代)
  - ・ベンチコーチは1名認めます。
- ④ 運営は、オーダー オブ プレイに従い、進行板を使用して行います。(試合中は原則として放送はしない)  
待機のチームは、ボールを用意して予定のコートに待機してください。
- ⑤ 試合前の練習は、ストローク2本サービス2本とします。
- ⑥ 本部にオーダー用紙を取りに来て、所定のコートで待機してください。
- ⑦ 試合終了後コート整備をお願いします。
- ⑧ 試合終了後挨拶を済ませたら、勝者のチームは直ちに本部に大会結果を報告してください。
- ⑨ オーダーはフリーとします。(単複の重複は不可)
- ⑩ 対戦の順番は、D1→S1→D2とします。
- ⑪ 待機のチームは前の試合のチームがコートより退場次第、挨拶、オーダー用紙交換後直ちに試合を開始してください。
- ⑫ 3位決定戦を行います。
- ⑬ コンソレーションを行います。(試合前の練習はサービスのみです。試合方式は6ゲーム先取、ノーアドバンテージとします。)

7 注意事項

- ① 欠場してもエントリー代は徴収します。
- ② 小雨決行。決定は会場で発表します。
- ③ 大会期間中の事故、負傷については責任を負いません。
- ④ 体調が悪い場合は無理をせず棄権する勇気を持ってください。
- ⑤ ゴミ、空き缶、弁当殻等は放置せず、各自で持ち帰ってください。
- ⑥ 場内禁煙です。喫煙はコート外の所定の場所をお願いします。
- ⑦ 8時30分から9時15分まで練習時間とします。会場は8時以前のウォームアップ、ランニングは禁止です。
- ※ コート使用が悪い場合はコートを借りられなくなります。ご協力をお願いします。
- ⑧ NSの連絡先

NSの連絡は大会日の前日までにFAXまたはメール(携帯を含む)

山口県テニス協会事務局
FAX 083-923-0071
Mail ypta@car.ocn.ne.jp

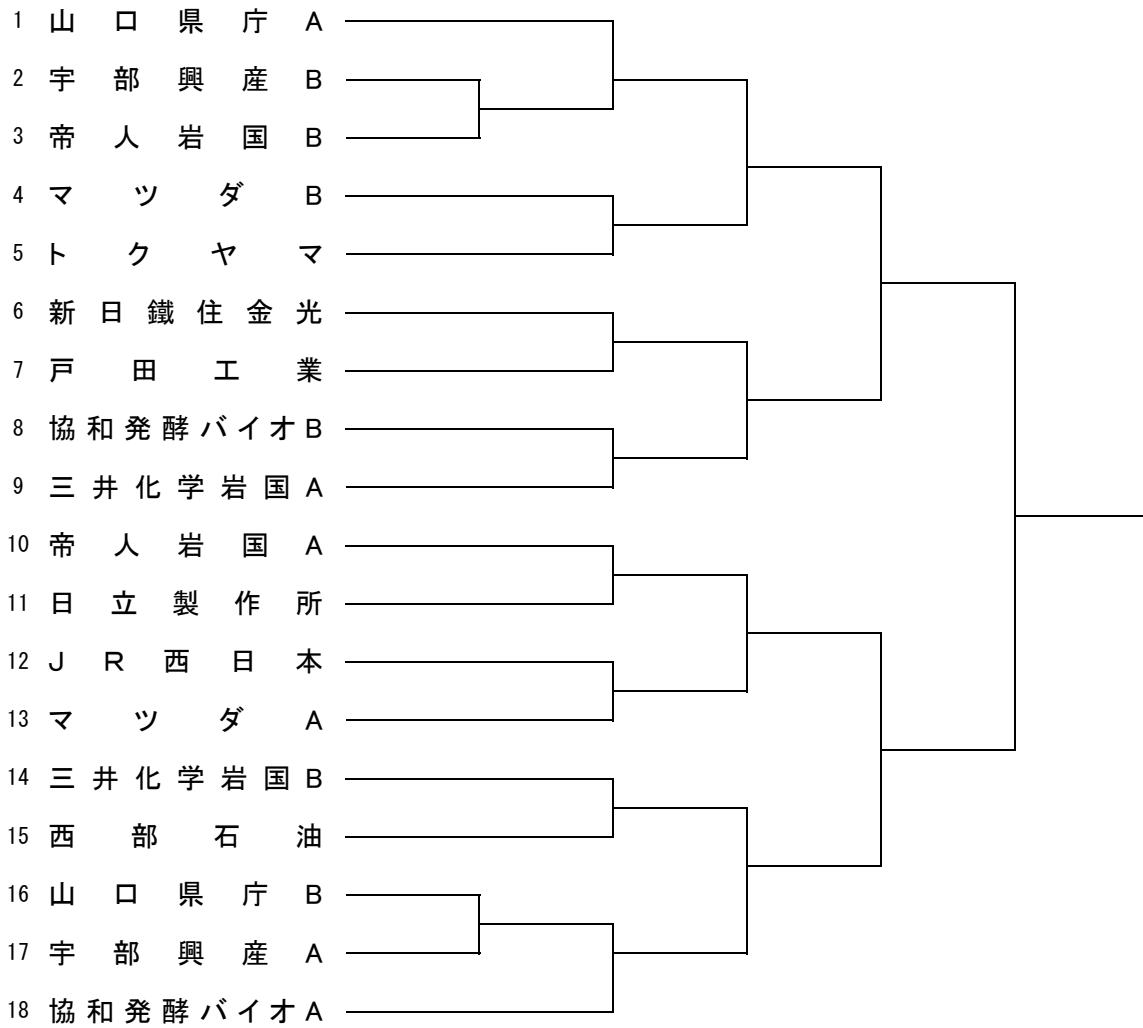
8 中国予選大会へ一般男子、一般女子とも上位2チームを県代表として推薦する。

中国地区予選:7月1日~7月2日(広島、びんご) 全国大会:8月25日~27日(石川、和倉温泉)

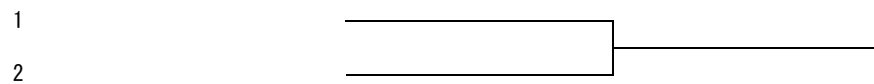
# 全国実業団(B)対抗テニス大会 山口県予選

【平成29年5月7日(日) 宇部マテ・フレッセラテニスコート】

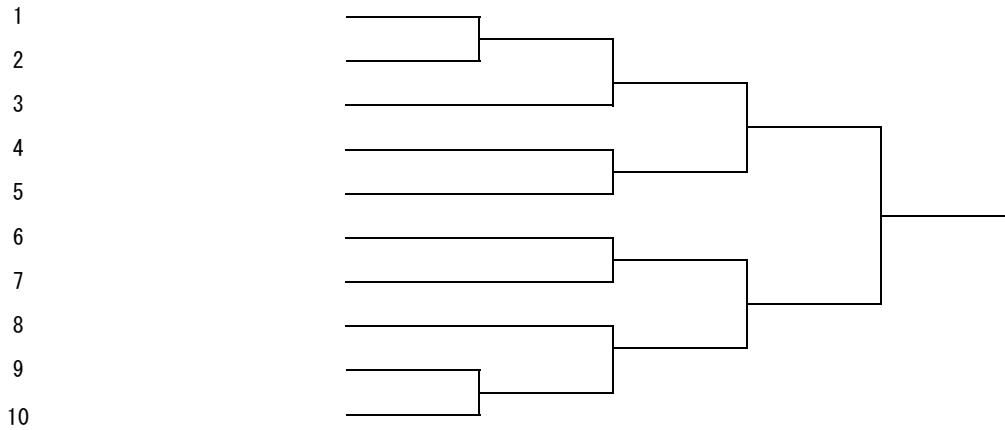
## 【男子】



### 3位決定戦



### 男子コンソレーション



全国実業団(B)対抗テニス大会 山口県予選 選手名簿

【平成29年5月7日(日) 宇部マテ・フレッセラテニスコート】

種目	No	団体名	監督	選手1	選手2	選手3	選手4	選手5	選手6	選手7	選手8	選手9
男子	1	山口県庁A	藤井 明	有馬 秀幸	山根 智	田中 哲司	濱中 辰夫	福永 智康	村川 収	永岡 慎也		
男子	2	宇部興産B	曾田 憲史	曾田 憲史	土井 隆泰	安部 健剛	小田 浩	岸原 尚也	平田 真吾	中川 慶彦		
男子	3	帝人岩国B	寺本 満	寺本 満	作本 成央	本田 尚	横田 悦也	森脇 康治	藤中 翔吾	畔柳 惣		
男子	4	マツダB	濱上 英明	濱上 英明	金坂 知典	新野 雅治	重村 拓哉	橋本 洸一	紀藤 豊			
男子	5	トクヤマ	中川 弘之	中村 正博	中川 弘之	棟近 俊宏	内山 政昭	佐伯 幸一	横山 浩樹	中城 良		
男子	6	新日鐵住金光	本村 洋	山本 哲也	栗崎 聡	藤井 秀徳	木村 圭太	田端 智史	田口 篤史	藤田 直也	本村 洋	石川 泰将
男子	7	戸田工業	上田 幸樹	上田 幸樹	河野 潤一	菊谷 和彦	田中 貞行	中村 聡志	西川 大輔	三好 浩志		
男子	8	協和発酵バイオB	高崎 英治	高崎 英治	中村 勝浩	橋本 洋典	中本 裕紀	安本 拓司	森 将浩			
男子	9	三井化学岩国A	大熊 正	大熊 正	神田 耕作	小野 功喜	西原 司	染川 亘輝	三井 優也	白木 裕之		
男子	10	帝人岩国A	大塚 淳弘	大塚 淳弘	井下 靖生	阿部 和広	永澤 仁志	土屋 英良				
男子	11	日立製作所	山本 英樹	日高 正貴	山本 英樹	貝森 勝	佐藤 潤	中津 拓真	遠藤 康広			
男子	12	JR西日本	松富 和彦	松富 和彦	伊藤 太一	山崎 修	上田 政雄	木船 寛史	松村 政弘	川田 優太	上谷 春寿	
男子	13	マツダA	谷藤 伸彦	谷藤 伸彦	梶田 博史	福井 信行	田村 和宏	山本 浩次郎				
男子	14	三井化学岩国B	久保 力	久保 力	井上 忍	岡村 浩次	西田 満隆	長尾 知宏	松木 直也	松岡 武		
男子	15	西部石油	北本 達也	北本 達也	殿村 謙	河本 信	竹中 智大	大下 光次				
男子	16	山口県庁B	藤井 明	吉山 文彦	吉山 明彦	伊藤 啓一郎	松田 弘之	藤井 明	大木 良磨			
男子	17	宇部興産A	吉田 慈孝	吉田 慈孝	内田 勝己	森田 信三	米田 修	木本 周作				
男子	18	協和発酵バイオA	林 洋明	林 洋明	山根 暁史	白井 貴大	村中 祐介	原田 達矢	磯谷 晃宏	村上 浩一		

## 服装用具に関するコード (試合前に確認しておきましょう)

### テニスウェアのロゴの大きさと数の制限



- ☆ ワンピースはウエストから上をシャツ、下をスカートとみなす。
- ☆ 13平方センチの製造業者ロゴ2つの代わりに26平方センチのロゴ1つを付てもよい。
- ☆ アディダスの3本線は製造業者ロゴとみなす。
- ☆ ウォームアップスーツについても同じ大きさと数が適用される。
- ☆ 大会によっては色、襟付きシャツなどを制限、規定する場合がある。

不明な点は、レフェリー又はロービングアンパイアに確認すること。

# チェアアンパイアがつかない試合方法(JTA TENNIS RULE BOOK)

## 1、セルフジャッジの方法

プレーヤー・チームが判定とコールすることをセルフジャッジと言い、以下のとおり行なう。

- 1) サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。
- 2) ネットより自分側のコートについて判定とコールをする。ボールがラインにタッチした時、あるいはボールを見失って判定できなかったときは「グッド」である。  
ボールとラインの間に、はっきりと空間が見えた時は「アウト」または「フォールト」である。
- 3) 判定とコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに行なう。代表的なハンドシグナルは、人差し指を出してアウト、フォールトを示し、手のひらを地面に向けてグッドを示す。
- 4) 「アウト」または「フォールト」とコールした直後に、プレーヤー自身が「グッド」と訂正した場合は、そのプレーヤーの失点となる。また「アウト」「フォールト」とコールし、レフェリーまたはロービングアンパイアによってオーバールールされた場合もそのプレーヤー・チームの失点となる。

ただし例外として、サーブされたボールがネットに触れたあとのフォールトを、「グッド」にオーバールールされた、あるいはプレーヤー自身が訂正した場合はそのサービスをやり直す。この場合に限って失点しない。

「グッド」の判定を「フォールト」「アウト」とオーバールールされた場合は、その「フォールト」「アウト」の判定が成立する。

- 5) ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。ただし、ネット、ストラップ、またはバンドに触れたサービスを、1人が「フォールト」パートナーは「レット(グッド)」とコールした場合は「(サービスの)レット」となる。
- 6) クレーコートでは、相手のプレーヤー・チームにボールマークの確認を要求できる。必要であれば、相手コートへ行ってボールマークを見ても良い。相手と判定が食い違った場合はレフェリーが最終判定をする。両者が示すボールマークの位置が食い違う場合、あるいは判定できるほどのマークが残っていない場合は最初のコールが成立する。ただし必要以上にBMIを申し出る選手には、レフェリーが適切な処置を取る場合がある。クレーコート以外はボールマークのチェックを行うことはできない。
- 7) サービスのレットはレシーバーがコールする。誤ってサーバーがサービスのレットをコールした時は、以下の判断がくだされる
  - ① そのコールによって、プレーが停止された場合は、サーバーの失点。
  - ② そのコールに、レシーバーが同意した場合は、サービスのレット。
  - ③ そのコールにかかわらず、プレーが続きポイントが終了した場合は、ポイントが成立する。
- 8) インプレー中、他コートからボールが入って来るなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。
- 9) インプレー中、プレーヤーがラケット以外の着衣・持ち物を相手コート以外の地面に落とした場合、それが1回目の時は、レットをコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。ただし落としたことがプレーに影響を及ぼしていない場合はポイントが成立する。2回目以降、落とすたびにそのプレーヤーが失点する。
- 10) スコアがわからなくなった時は、双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで双方が合意できるポイントを足したスコアから再開する。合意できなかったポイントは取り消される。ゲームスコアが分からなくなった時も同様に処理する。

再開する時のエンドとサーバーは、合意されたスコアに準ずる。ただし、ゲームスコアが訂正され、再開する場合のサーバーは、次の順のサーバーに交代しなければならない。(同じプレーヤーが2ゲーム連続サーバーにはなれない。)

- 11) 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
  - ① 試合中、トイレ、着替え、ヒートルールなどでコートを離れる時
  - ② 相手選手の言動やコール、フットフォールト等に疑問、不服がある場合
  - ③ プレーヤー同士で解決できないようなトラブルが起こった時
- 12) メディカルタイムアウトを取りたい時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに申し出る。トレーナーのいない大会ではプレーヤー自身が手当てをすることができるが、レフェリーまたはロービングアンパイアによって、手当てを必要とする状態かどうか確認後、その許可を得て3分以内に処置を行う。
- 13) 試合終了後、勝者は大会本部に試合ボールを届け、スコアを報告する。